

## 主張

医科研究部は、学術研究・医療安全対策・感染症対策を3本の柱に活動をしています。医療の世界は日進月歩に変革しており、医療人にとって毎日の研鑽が必要です。

まず学術面としては、基本的なX線写真の読影技術の研修会を定期的を実施し、夏の恒例行事となつている「医療研究フォーラム」を開催しています。フォーラムでは症例報告をはじめ、社会問題や医

療に対する取り組みや新しい知見の報告などを医科・歯科の先生はもちろん、多職種や専門家（弁護士・社労士・税理士など）医療関係を目指す高

校生なども合同で発表会として行っています。次いで医療安全対策は、医療を提供するにあたり必要不可欠の要素であり、積極的な取り組みと定期

的な見直しが要求されます。医療事故を起こさないための「エラーをとがめずシステムを改善」「ヒヤリハット報告」「Plan-Do-Check-Actサイクル」

や、診療所にとつての「モンスター患者による職員の疲弊」「インターネット上の悪質な書き込みによる損害」「応召義務の解

は限界のある事柄を職場全体で、またいろいろな人の協力を得て解決する必要があります。その道標として、講師に医療安全のエキスパートの先生

を招聘し講演をしていただき、日常診療に役立つ情報や知見を学習する機会を毎年頂いております。今、日本いや世界中を苦しめているコロナ禍。

孫子の兵法にある「敵を知り己を知れば百戦危うからず」ということで、感染症対策に関しても、「子宮頸がんワクチン問題」「大学生の麻疹感染」「一

定年齢の男性に対する風疹対策」「新型コロナウイルス対策」など、その時々々の社会問題に合わせて、感染症の専門家の先生に講演をお願いし、最新の知見を交え、今われわれ実地医家にできる対策・心構えを教えてくださいたいです。皆様方の奮ってのご参加を心待ちにしています。

# 三重県保険医協会 医科研究部の活動について